

# 住中だより

第14号 平成24年11月2日発行

大東市立住道中学校

校長 岡本 功

0 7 2 - 8 7 2 - 7 3 5 1

<http://ed.city.daito.osaka.jp/sumi-jhs/>

## 実りの秋へ～『合唱コンクール』『文化祭』～

10月24日（水）に開催しました合唱コンクールには、およそ470名もの保護者の皆様にご来場いただきました。改めて本校の合唱に対する期待の大きさをひしひしと感じました。ありがとうございました。

1年生は初めての合唱の取り組み。合唱の楽しさや難しさを知り、上級生の歌声を聴くことで「合唱とは何か」を体感することができたことでしょうか。どのクラス合唱も前向きさやまとまりがよく、1年生らしい元気な歌声でした。十二分に合格点でした。

2年生は中堅学年として期待どおりの、いやそれ以上の歌声を響かせてくれました。練習時から合唱を通してクラスがまとまっていく過程も見事で、当日の歌声はまさに「成長の歌声」であったと思います。来年の「モルダウの流れ」が今から楽しみです。

3年生の「モルダウの流れ」は1・2年生も“あこがれ”を抱いたことでしょう。その“あこがれ”が伝統をつなぐ架け橋となります。最上級生としての思いを込めて合唱に取り組んだことは、残りの中学校生活に生きてくるはずです。

合唱コンクールでは「これは単なる行事ではなく、住中の文化である。」と今年も感慨を覚えました。



今年も体育館が揺れました。  
3年生「モルダウの流れ」、感動の歌声です。

生徒の歌声には、一人一人の素直な気持ちや前向きな心、学級の協力ぶりなどがぎっしりと凝縮されています。

会場でご記入いただいた保護者の皆さんの感想からは、合唱コンクールを通して生徒たちの頑張り、成長を十分評価していただきさっており、たいへんありがたく思います。

「何年先もこの歌声が響く住中を。」と心に刻んだ合唱コンクールでした。

10月26日（金）には第40回文化祭が「桂樹に描こう 若き可能性と創造」をテーマに盛大に行われました。

平日開催にもかかわらず、およそ150名の保護者の皆様に来校していただきました。生徒たちにもよい励みになりました。

とりわけ文化部については絶好の晴れ舞台となりました。各部・教科・委員会・あすなろ学級・学年など、どの発表も見応えのあるものでした。

### 【ステージの部】

- 英語部 「皿屋敷」の英語劇。劇だけでもたいへんですが、英語の暗唱にも苦労したことでしょう。英語に親しみながら楽しく学習している様子が伝わりました。
- 放送部 絵本の朗読。舞台発表だけでなく、文化祭の進行や音響、スポットライトなど大活躍の一日でした。
- 2年生 職業体験学習の報告。寸劇では職業体験で学んだことを委員長会が名演技で伝えてくれました。感想発表もたいへんすばらしい内容で、貴重な振り返りとなりました。
- 吹奏楽 今年は驚くような趣向もあり音楽の楽しさを披露してくれたステージとなりました。練習の成果を発揮することができました。3年生は中研学芸の部のステージで有終の美を飾ってください。

### 【展示の部】

理科「夏休みの自由研究」は各学年で優秀な30～40作品の展示でした。毎年レベルの高さを感じます。

国語科「人物紹介パンフレット（2年）」「書写作品（1年）」、社会科「世界の国調べ（1年）」、技術科「キーホルダー（2年）」、美術科「各学年制作展示」、あすなろ学級「パーラービーズ・コースター」は友達の作品から学ぶことが多かったのではないのでしょうか。各コーナーで感嘆の声が聞こえてきました。

また、3年生の「沖縄修学旅行・壁新聞」や2年生「職業体験ポスター」、体育委員会「体育大会各学年記録」の掲示にも多くの人が見入っていました。

美術部は個人作品・共同作品など、普段楽しく創作活動ができている雰囲気展示作品から伝わってきました。

科学工作部の体験コーナーは例年どおりの人気。楽しい実験に人の輪ができていました。科学のおもしろさを伝えることができましたね。

力作の展示に感嘆の声があがっていました。



## 部活動 栄光を讃えます

### ○卓球部 市夏季大会

3年男子個人の部 準優勝 (3年)

第3位 (3年)

男子団体の部 第3位 (1年)

### ○バレーボール部 (男子)

四条中との合同チームで (3年) が府大会に出場しました。

## 『授業アンケート』ご協力をお願いします

本校では「魅力ある授業」「わかる授業」の充実に向けて様々な取組みを進めています。

この度、大阪府教育委員会の施策として、多様な観点から授業を検証するために、府下の全公立小・中学校において授業アンケートを実施することになりました。

アンケート結果につきましては、より分かりやすい授業づくりのために活用してまいります。

また、アンケート記入の際、授業の様子や態度などについてお子さんと話し合う機会にさせていただければと考えております。

お忙しい中恐縮ですが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

■ 11月5日 (月) に依頼プリントとアンケート用紙を配付します。

■ アンケートはマークシート様式です。

■ 11月16日 (金) までにお子さんを通じて担任に提出してください。

■ 「一度も参観したことがない」教員の授業についても回答していただくこととなります。お子さんと授業について話をさせていただきながら、できる限りご記入ください。

■ 詳細は依頼プリントに記載してします。

## 「府教委ニュース」に住中が掲載されています

大阪府教育委員会作成の「府教委ニュース・第127号(11月1日発行)」の『特色ある学校づくり』のページに本校の取組みが掲載されています。

機会がありましたらぜひご覧ください。

インターネット 府教委ニュース ですぐに検索できます。

# STOP！ 自転車通学

自転車通学について地域の方から通報、苦情があります。

- ・住中生が近所に自転車を駐輪していて迷惑である。(末広住宅・川中新町・扇町・メディカルプラザ・サーティホール等)
- ・住中生が(○年生が、○○くん・○○さんが)自転車で登校していた。
- ・自転車通学している住中生とぶつかりそうになった。

学校では自転車通学を把握した場合は生徒を指導した上で、預かった自転車は保護者に来校いただいて返却しています(携帯電話の持ち込みと同様です)。

自転車通学は適正な通学方法と認められていません(けが等特別な事情により許可した場合を除く)ので、登下校時に事故に遭って自身がけがをしても、人にけがをさせてもスポーツ振興センターから治療費は支払われません。

何より、自転車で登校する横着な姿勢、規範意識のなさが学校生活全般のことと無関係であるはずがなく、推して知るべしです。

お子さんが朝、自転車で家を出るようなことがありましたら、中学生として当たり前前のルールを守るようご注意ください。お子さん自身の安全、命にもかかわることですのでよろしくお願いいたします。

(お子さんが「みんな自転車で来ている。」というかもしれませんが、当然ながら大多数の生徒は徒歩で通学しています。自分の周りのごく一部の「みんな」のことかもしれません。)

また、全国的にも自転車による事故やトラブルが増加しています。帰宅後や休みの日などでも自転車の安全利用について注意が必要です。

## 自転車安全利用について

～大阪府警 自転車の交通安全ルールブックより～

- ◇ 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ◇ 車道は左側を通行
- ◇ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ◇ 安全ルールを守る
  - ・ 二人乗り・並進の禁止
  - ・ 夜間はライトを点灯
  - ・ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認